

令和2年度 長野県後期高齢者医療広域連合

一般会計及び後期高齢者医療特別会計

歳入歳出決算審査意見書

長野県後期高齢者医療広域連合監査委員

令和2年度 長野県後期高齢者医療広域連合  
一般会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算審査意見書

第1 審査の対象

- 1 令和2年度 一般会計歳入歳出に係る決算書及び決算附属書類
- 2 令和2年度 後期高齢者医療特別会計歳入歳出に係る決算書及び決算附属書類
- 3 令和2年度 財産に関する調書

第2 審査の実施日等

- 1 実施日 令和3年8月25日（水）
- 2 場所 NOSAI長野会館2階会議室

第3 審査の着眼点

審査に当たっては、決算計数が適正であるか、予算の執行が適正かつ効果的に行われているか等について、主眼を置き審査した。

第4 審査の主な実施内容

審査に当たっては、長野県後期高齢者医療広域連合監査等の監査基準及び事務処理に関する規程（令和2年4月1日施行）に基づき実施した。

各会計の決算書及びその附属書類が、地方自治法及びその他の関係法令に準拠して作成され、計数が正確であるか、予算の執行又は事業の運営が適正かつ経済的、効率的、効果的に行われているかについて、関係諸帳簿及び証拠書類を照合するとともに、主要事業の成果等について、関係職員の説明を求め、審査を実施した。

## 第5 審査の概要

### 1 一般会計

#### (1) 歳入

歳入予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，%)

| 区分<br>款        | 予算現額        | 調定額         | 収入済額        |        | 不納欠損額 | 収入未済額 | 予算現額と<br>収入済額との<br>比較 |
|----------------|-------------|-------------|-------------|--------|-------|-------|-----------------------|
|                |             |             |             | 構成比    |       |       |                       |
| 1 分担金及び<br>負担金 | 736,560,000 | 736,559,309 | 736,559,309 | 91.02  | 0     | 0     | △ 691                 |
| 2 国庫支出金        | 302,000     | 163,007     | 163,007     | 0.02   | 0     | 0     | △ 138,993             |
| 3 繰越金          | 72,507,000  | 72,507,715  | 72,507,715  | 8.96   | 0     | 0     | 715                   |
| 4 諸収入          | 2,000       | 6,036       | 6,036       | 0.00   | 0     | 0     | 4,036                 |
| 歳入合計           | 809,371,000 | 809,236,067 | 809,236,067 | 100.00 | 0     | 0     | △ 134,933             |

予算現額8億937万1,000円に対し、収入済額は、8億923万6,067円で、予算現額と収入済額との差は、△13万4,933円である。

主な歳入は、分担金及び負担金の7億3,655万9,309円で、構成比にして91.02%、全額が市町村事務費負担金である。次いで、繰越金の7,250万7,715円で、構成比8.96%、前年度からの繰越金である。

また、不納欠損額及び収入未済額は、0円である。

なお、平成20年度以降、補正予算において、前年度の一般会計における実質的な剰余金を現年度の市町村事務費負担金から減額することにより精算が行われており、令和2年度についても、前年度の実質的な剰余金を市町村事務費負担金から減額することにより、精算が行われている。

## (2) 歳出

歳出予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，%)

| 区分<br>款 | 予算現額        | 支出済額        |        | 翌年度繰越額 | 不用額        | 予算現額と<br>支出済額との<br>比較 |
|---------|-------------|-------------|--------|--------|------------|-----------------------|
|         |             |             | 構成比    |        |            |                       |
| 1 議会費   | 815,000     | 504,285     | 0.07   | 0      | 310,715    | 310,715               |
| 2 総務費   | 305,133,000 | 288,749,675 | 38.67  | 0      | 16,383,325 | 16,383,325            |
| 3 民生費   | 498,273,000 | 457,377,156 | 61.26  | 0      | 40,895,844 | 40,895,844            |
| 4 公債費   | 150,000     | 0           | 0.00   | 0      | 150,000    | 150,000               |
| 5 予備費   | 5,000,000   | 0           | 0.00   | 0      | 5,000,000  | 5,000,000             |
| 歳出合計    | 809,371,000 | 746,631,116 | 100.00 | 0      | 62,739,884 | 62,739,884            |

予算現額 8 億 937 万 1,000 円に対し、支出済額は、7 億 4,663 万 1,116 円である。翌年度繰越額が 0 円であるため、不用額は、6,273 万 9,884 円となっている。

主な歳出は、民生費の 4 億 5,737 万 7,156 円で、構成比にして 61.26%、特別会計への事務費繰出金である。次いで、総務費の 2 億 8,874 万 9,675 円で、構成比 38.67%、主に県や市町村からの派遣職員に係る給与費等負担金である。

## 2 後期高齢者医療特別会計

### (1) 歳入

歳入予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，%)

| 区分<br>款              | 予算現額            | 調定額             | 収入済額            |        | 不納欠損額   | 収入未済額      | 予算現額と<br>収入済額との<br>比較 |
|----------------------|-----------------|-----------------|-----------------|--------|---------|------------|-----------------------|
|                      |                 |                 |                 | 構成比    |         |            |                       |
| 1 市町村支出金             | 49,851,724,000  | 49,722,217,210  | 49,722,217,210  | 16.75  | 0       | 0          | △ 129,506,790         |
| 2 国庫支出金              | 92,235,892,000  | 99,574,775,210  | 99,574,775,210  | 33.55  | 0       | 0          | 7,338,883,210         |
| 3 県支出金               | 23,592,504,000  | 23,540,642,657  | 23,540,642,657  | 7.93   | 0       | 0          | △ 51,861,343          |
| 4 支払基金交付金            | 112,014,556,000 | 110,139,661,680 | 110,139,661,680 | 37.10  | 0       | 0          | △ 1,874,894,320       |
| 5 特別高額医療費<br>共同事業交付金 | 73,285,000      | 128,329,636     | 128,329,636     | 0.04   | 0       | 0          | 55,044,636            |
| 6 繰入金                | 498,273,000     | 457,377,156     | 457,377,156     | 0.16   | 0       | 0          | △ 40,895,844          |
| 7 繰越金                | 12,979,749,000  | 12,979,749,075  | 12,979,749,075  | 4.37   | 0       | 0          | .75                   |
| 8 諸収入                | 302,512,000     | 323,933,618     | 308,540,965     | 0.10   | 916,299 | 14,476,354 | 6,028,965             |
| 歳入合計                 | 291,548,495,000 | 296,866,686,242 | 296,851,293,589 | 100.00 | 916,299 | 14,476,354 | 5,302,798,589         |

予算現額 2,915 億 4,849 万 5,000 円に対し、収入済額は、2,968 億 5,129 万 3,589 円である。予算現額と収入済額との差は、53 億 279 万 8,589 円である。

主な歳入は、支払基金交付金の 1,101 億 3,966 万 1,680 円で、構成比にして 37.10%、現役世代からの支援金である。次いで国庫支出金の 995 億 7,477 万 5,210 円で、構成比 33.55%、国からの療養給付費負担金や調整交付金等である。次いで市町村支出金の 497 億 2,221 万 7,210 円で、構成比 16.75%、市町村からの保険料や療養給付費負担金である。

(2) 歳出

歳出予算の款別執行状況は、次表のとおりである。

(単位：円，%)

| 区分<br>款              | 予算現額            | 支出済額            |        | 翌年度繰越額 | 不用額            | 予算現額と<br>支出済額との<br>比較 |
|----------------------|-----------------|-----------------|--------|--------|----------------|-----------------------|
|                      |                 |                 | 構成比    |        |                |                       |
| 1 総務費                | 634,031,000     | 602,448,276     | 0.22   | 0      | 31,582,724     | 31,582,724            |
| 2 保険給付費              | 279,534,880,000 | 270,200,219,979 | 98.37  | 0      | 9,334,660,021  | 9,334,660,021         |
| 3 特別高額医療費<br>共同事業拠出金 | 103,049,000     | 103,039,711     | 0.03   | 0      | 9,289          | 9,289                 |
| 4 保健事業費              | 995,654,000     | 847,378,140     | 0.31   | 0      | 148,275,860    | 148,275,860           |
| 5 公債費                | 9,343,000       | 0               | 0.00   | 0      | 9,343,000      | 9,343,000             |
| 6 諸支出金               | 2,933,928,000   | 2,932,580,983   | 1.07   | 0      | 1,347,017      | 1,347,017             |
| 7 予備費                | 7,337,610,000   | 0               | 0.00   | 0      | 7,337,610,000  | 7,337,610,000         |
| 歳出合計                 | 291,548,495,000 | 274,685,667,089 | 100.00 | 0      | 16,862,827,911 | 16,862,827,911        |

予算現額 2,915 億 4,849 万 5,000 円に対し、支出済額は、2,746 億 8,566 万 7,089 円である。翌年度繰越額が 0 円であるため、不用額は、168 億 6,282 万 7,911 円となっている。

主な歳出は、保険給付費の 2,702 億 21 万 9,979 円で、構成比が 98.37%、療養給付費や高額療養費等である。次いで諸支出金の 29 億 3,258 万 983 円で、構成比 1.07%、前年度の国庫支出金に係る償還金等である。次いで保健事業費の 8 億 4,737 万 8,140 円で、構成比 0.31%、市町村が実施する健康診査事業や長寿・健康増進事業（人間ドック等）に対する補助金等である。

### 3 実質収支

審査に付された実質収支に関する調書は適正に作成されており、記載された計数は正確であると認められた。

#### (1) 一般会計

(単位：円)

| 歳入総額        | 歳出総額        | 歳入歳出差引額    | 翌年度へ繰り越すべき財源 |          |          | 実質収支額      |
|-------------|-------------|------------|--------------|----------|----------|------------|
|             |             |            | 継続費通次繰越額     | 繰越明許費繰越額 | 事故繰越し繰越額 |            |
| 809,236,067 | 746,631,116 | 62,604,951 | 0            | 0        | 0        | 62,604,951 |

歳入総額 8 億 923 万 6,067 円に対し、歳出総額は、7 億 4,663 万 1,116 円である。翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるため、実質収支額は 6,260 万 4,951 円となっている。

#### (2) 後期高齢者医療特別会計

(単位：円)

| 歳入総額            | 歳出総額            | 歳入歳出差引額        | 翌年度へ繰り越すべき財源 |          |          | 実質収支額          |
|-----------------|-----------------|----------------|--------------|----------|----------|----------------|
|                 |                 |                | 継続費通次繰越額     | 繰越明許費繰越額 | 事故繰越し繰越額 |                |
| 296,851,293,589 | 274,685,667,089 | 22,165,626,500 | 0            | 0        | 0        | 22,165,626,500 |

歳入総額 2,968 億 5,129 万 3,589 円に対し、歳出総額は、2,746 億 8,566 万 7,089 円である。翌年度へ繰り越すべき財源は 0 円であるため、実質収支額は、221 億 6,562 万 6,500 円となっている。

### 4 財産に関する調書

令和 2 年度中において、公有財産、重要な物品及び債権の取得はなかったため、審査に付される財産はない。

## 第6 審査の結果

審査に付された、長野県後期高齢者医療広域連合一般会計及び後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算書、決算附属書類及び財産に関する調書は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その計数は、関係諸帳簿及び証拠書類と照合した結果、正確なものと認められた。また、予算の執行状況についても、適正かつ効果的に執行されていると認められた。

## 第7 審査の意見

保険給付や被保険者の資格管理及び保険料収入等に関する事務について、市町村との連携により、適正かつ効率的に執行され、会計経理についても、決算数値に誤りはなく、予算、法令等に従い、効率的かつ効果的に執行されていると認められた。

また、特別会計の歳出における保険給付費の増加が課題となっている中、第2期保健事業実施計画に基づく市町村との連携による低栄養防止・重症化予防事業、後発医薬品の利用促進などの各種保健事業等が適切に実施されており、医療費適正化に対する有効性が認められた。

その一方で、健康診査事業について、市町村間の受診率の格差を解消して全体受診率の向上に努めるとともに、ジェネリック医薬品の利用促進を図るなど、医療費の削減に努められたい。

また、事業の実施にあたっては、費用対効果を十分に検証しながら、より効果的な執行をされたい。

結びに、所期の目的達成のため、今後も健全な財政運営のもと、安定した制度の運営がなされるよう、引き続き適正な予算執行に努められたい。